

一

般

質

問



町民のみなさんの生活を、より良いものにするため、町に対して質問を行いました。主な内容をお知らせいたします。

- P5 …… 井上加奈子
P6 …… 岡田 康司、難波希美子
P7 …… 中西 顕治、川口 省子
P8 …… 岡本ひとし、森田 則子
P9 …… 中植 昭彦、畠中 勝身

一般質問



井上 加奈子

男女共同参画

問 男女共同参画の意識

調査の住民の記述回答に

「長い間、社会の構造が男性主体で築かれてきたことを考えると、地域や

家庭、風習、制度、仕事の在り方までもが、その

価値観を土台にして成り立っているように思いま

す。男女平等や分担、助け合いといった言葉はよく使われますが、その前

提自体が既に男性主体社会の上でできているとす

れば（一部省略）一旦その基盤を意識的に解体し、問い直す必要がある

のではないのでしょうか」とある。これこそ男女共同参画社会実現の本質だと考える。本町はジェン

ダーギャップの原因をどう認識しているか問う。

答 家族、地域、職場の

空気感がギャップにつながっていると考えます。

問 男女共同参画社会の実現が、人口流出や地域

経済にも関わることを伝えないと、理解は進まないのではないかと問う。

答 地域の持続可能性のためにも必要な施策である。意味を知らない人が多いため、啓発したい。

問 男女が共に長期的なキャリアアップを持ち、働きやすく選ばれる町でなければ人材は枯渇する。10年後、20年後を見据え、危機感を持って取り組みでほしいが、考え

を問う。

① 乗合タクシーの子どもの利用促進 ② 男女共同参画の推進

答 風潮に任せているは変わらないと思ってい

る。

乗合タクシー利用

問 昨年度の子どもの利用実績は4名であった。

こどももなかなか社会の実現には、全ての施策を子どもの視点から考える必要がある。認識を問う。

答 これまで高齢者を重点に進めてきたが、児童生徒向けのチラシを作り、夏休みに間に合うよう周知に努めたい。

